

高隈小学校いじめ防止基本方針

【教育目標】

確かな学力を身につけさせ、豊かな心を育み、心身と共にくましい高隈っ子を育成する
 キャッチフレーズ「元気いっぱい、笑顔いっぱい、地域の宝、高隈小学校」

家庭・地域との連携
 ○ 保護者
 ○ 高隈地区コミュニティー協議会
 ○ 高隈駐在所

いじめ防止対策委員会

【目的】

いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、より根本的ないじめの問題克服のためには、全ての児童を対象にしたいじめの未然防止の観点が必要であり、いじめに向かわせることなく、心の通う対人関係を構築できるように、いじめを生まない学校を創っていく。

【組織構成】

- 管理職、生徒指導主任、教育相談係、養護教諭、その他必要に応じた関係職員

関係機関との連携

- 鹿屋市教育委員会
- 鹿屋警察署
- 鹿屋市消防本部

めざす子ども像

- つよく**
 ○体を鍛え、最後まであきらめずにがんばりぬく子ども
 ○危険予知、回避能力を身につけ、命を大切にす子ども
- かしこく**
 ○何事にも好奇心を持ち、よく考え、題解決に取り組む子ども
 ○学び方が分かり、学んだことを生かす子ども
- 心豊かに**
 ○礼儀正しく、思いやりがあり、感謝の心を持つ子ども
 ○学校や社会のルールをきちんと守る子ども
- 基本的な生活習慣と心の教育**
 ア 月目標の徹底
 イ 「高隈っ子の生活のしおり」の活用と徹底
 ウ 人権教育・生命尊重の教育の推進
 エ 道徳教育による「心の教育」の推進
 オ いじめ・不登校等の維持
 カ 小・中・高連携の推進
 キ 児童会活動、係・委員会活動の充実

【いじめの防止】

- 道徳の授業や学級活動等を中心にして、よりよい対人関係や学校生活がおくれるように努める。
- 人権教室を行い、学級や学校全体のよりよい仲間作りに努める。
- 「いじめ問題を考える週間」「いじめ問題を考える日」を設定し、子ども一人一人に意識を持たせる。
- 「ありがとうメッセージ」への取組による自尊感情の高揚を図る
- 朝の会、帰りの会の中で、良かった事の子どもの発見を通して、お互いの良さを認め合う。
- P T Aの講演会や家庭教育学級等を通して、いじめの防止の意識を高める。

【いじめの早期発見】

- 毎月の職員会議やいじめ防止対策委員会を開催し、児童の様子について情報交換を行う。
- 担任連絡会の中で、担任同士の連携を密に図り、子ども同士の関係を把握する。
- 全職員で全児童を見守り、積極的に情報を共有していく。
- 全児童を対象にアンケートを実施して、子ども同士のいじめの早期発見に努める。
- 家庭訪問や教育相談を通して、保護者との連携を深め、子どもの情報を共有する。

【いじめに対する措置】

- いじめの被害者と加害者から事情を聞き、いじめ防止対策委員会を開催して学校、学級の対応を検討する。
- 全児童を対象にいじめアンケートを実施して、実態把握に努める。
- 全校朝会で校長がよりよい人間関係の講話を行い、学級でも学級活動で心の動揺がないようにする。
- 児童同士が、加害者や被害者を偏見の目で見ることがないようにする。
- 必要に応じて、臨時のP T A全体会を実施し、状況報告と再びいじめが発生しないようにする。

生徒指導

- 全職員で全児童を見守る体制、実践による心に届く生徒指導の体制の確立
- 教育相談の推進による家庭との連携
- 問題行動の防止と早期発見・早期対応
- 小・中・高の連携

相談体制

- 家庭訪問の実施
- 教育相談週間

職員研修

- 生徒指導事例研修
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携
- 啓発資料の活用

【年間計画】

月	月目標	計画及び評価	実態把握	各教科道徳特別活動	児童会活動	情報モラル関連	教育相談	職員研修
4	気持ちのよい学校生活をスタートさせよう	いじめ問題を考える週間		1年生を迎える会の準備をしよう	1年生を迎える会	総合的な学習の時間	家庭訪問	学校基本方針の確認
5	気持ちのよいあいさつをしよう		児童アンケート	情報モラルについて				
6	室内では、静かにすごそう				児童総会		個別面談	
7	気持ちのよい言葉づかいをしよう		保護者との児童相談					事例研修、学校評価
8	楽しい夏休みをすごそう							
9	力を合わせて助け合おう	いじめ問題を考える週間	児童アンケート		いじめ防止標語			
10	本をたくさん読もう	校長講話					個別面談	
11	体をきたえよう	心の教育の日		道徳「生命尊重、いじめ問題」				
12	思いやりのある行動をしよう	校内人権週間			人権標語			事例研修、学校評価
1	気持ちのよい生活をしよう	いじめ問題を考える週間	児童アンケート					
2	寒さに負けないようにしよう						個別面談	
3	1年間のまとめをしっかりとしよう							事例研修、学校評価

※ 毎月5日の「いじめ問題を考える日」の設定

※ 毎月のいじめ防止対策委員会の実施